

資料 1

平成 29 年度千葉県リハビリテーション支援センター及び
地域リハビリテーション広域支援センター活動報告

千葉県リハビリテーション支援センター	P 1 ～ 2	
千葉地域リハビリテーション広域支援センター	P 3 ～ 4	
東葛南部	〃	P 5 ～ 6
東葛北部	〃	P 7 ～ 8
印旛	〃	P 9 ～ 1 0
香取海匝	〃	P 1 1 ～ 1 2
山武長生夷隅	〃	P 1 3 ～ 1 5
安房	〃	P 1 7 ～ 1 8
君津	〃	P 1 9 ～ 2 0
市原	〃	P 2 1 ～ 2 2

平成29年度千葉県リハビリテーション支援センター運営事業実績報告書

圏域	全県
病院名	千葉県千葉リハビリテーションセンター
重点活動項目評価	<p>●広域支援センターの活動支援 →圏域ごとの担当制を取り入れ、連絡協議会やパートナー会議等に参加することで、広域支援センター間の情報共有や活動支援を行った。</p> <p>●地域リハパートナー制度の充実に関わること →リハパートナーの登録施設が徐々に増加しており、支援センターとしても地域リハ調整者養成研修等の研修や意見交換を通しその質の担保を図った。</p> <p>●災害リハに関する地域リハとしての取り組みの整備 →千葉県災害リハ支援関連団体協議会の事務局として、9都県市合同防災訓練等に広域支援センターやパートナーと共に参加し、災害リハに関わる啓発・関係者の連携推進を図った。</p>

※（以下[]は支援センターからの延べ参加者数）

<p>1 広域支援センター支援</p> <p>ア 担当者会議・研修会等（機能・役割：実施要綱第2の2ア・イ）</p> <p>(1) 広域支援センター担当者連絡会議の開催 04/25[8]、03/14予定</p> <p>(2) 広域支援センター意見交換会の開催 04/25[8]、07/24[3]、10/04[4]、01/18[4]</p> <p>(3) 職能団体と広域支援センター担当者の意見交換（調整中）</p> <p>イ その他の支援</p> <p>広域支援センターに関わる主担当制の導入</p> <p>① 東葛北部、香取海匝、市原、君津</p> <p>② 千葉、東葛南部、印旛、安房</p> <p>③ 山武長生夷隅</p>
<p>2 関係機関従事者の人材育成・情報提供等（同エ・オ・キ）</p> <p>(1) 各広域支援センター連絡協議会および各圏域での地域リハパートナー実務者会議への参加及び事業協力</p> <p>①連絡協議会 7圏域10回延べ20人 (千葉 08/02[3]、02/07[2]、君津 05/30[1]、10/25[1]、東葛北部07/11[3]、02/06[3]、東葛南部 01/12[3]、市原 02/23[1]、印旛 06/30[2]、安房 07/19[1])</p> <p>②リハパートナー会議7圏域9回延べ15人 (千葉 08/29[1]、12/14[2]、03/13予定、東葛北部 06/08[2]、10/12[2]、東葛南部 06/16[1]、市原12/08[2]、山武長生夷隅 09/27[2]、印旛 06/30[2]、香取 07/18[1])</p> <p>(2) 県内地域リハ関係事業への参加・協力・講師派遣 協力・講師派遣：24回延べ34人</p> <p>①市町村 千葉市06/07[1]、09/01[3]、09/20[1]、09/21[1]、10/10[2]、10/26[2]、11/07[2]、11/21[2]、12/13[2] 市原市 05/18[1]、06/22[2]、08/24[1]、09/21[1]、10/21[2]、浦安市 07/10[1]、白井市 02/01[1]、いすみ市 06/27[1]、佐倉市 10/12[1]</p> <p>②圏域 東葛北部 09/19[1]、東葛南部 10/25[1]、山武長生 05/17[1]、07/18[1]、07/25[1]、印旛 12/22[2]、</p> <p>③千葉県高齢者福祉課：13回 (08/21[1]、08/18[3]、09/20[1]、10/04[2]、10/11[3]、11/10[3]、11/21[1]、11/27[1]、12/01[3]、12/20[3]、01/22[1]、01/24[1]、02/5[1]) ※県高齢者福祉課主催 介護予防従事者研修への協力</p> <p>③調整者養成研修会 2回：君津市 12/12[3]参加者54名、千葉市 12/19[4]参加者70名 合計124名</p>

3 普及・啓発（同カ）

(1) 第11回千葉県地域リハビリテーションフォーラム

01/27(土)千葉県教育会館 参加者146名 [7]

(2) 災害リハビリテーション研修会（地域リハフォーラムと同時同会場にて開催）
参加者123名[6]

(3) 県内地域リハに関わる情報収集

- ①在宅医療介護連携推進事業に関すること
 - ②地域ケア会議に関すること
 - ③地域リハ活動支援事業に関すること
 - ④地域リハパートナー登録者からの意見聴取
- ※健康づくり支援課の全県調査に協力

(4) ホームページの更新

「千葉県在宅リハネットワーク」のホームページおよびメーリングリストを活用し、本事業の発信ツールとして構築。併せて災害リハに関する平時の取り組みについての情報提供。現在227件（内、H29年度登録23件）

(5) 県外の情報収集

- ①全国地域リハ合同研修大会（07/22-23 川越）参加[4]
- ②第56回全国自治体病院学会（10/20-21 幕張メッセ）における講演・シンポジウムの開催
[30名内部内5]

特別講演「新たな地域リハビリテーションの展開に向けた自治体病院の関わり」

講師 近藤克則(千葉大学予防医学センター教授)

(6) 地域リハビリテーション出前講座の実施（広域支援センターと協働）

09/15[3] 千葉市立 泉谷小 :受講人数80名
09/26[3] 船橋市立 飯山満小 :受講人数132名
09/27[3] 東金市立 城西小 :受講人数80名
10/24[2] 千葉市立 川戸小 :受講人数65名
10.30[2] 浦安市立 明海小 :受講人数62名
11/06[2] 千葉市立 小谷小 :受講人数100名
11/13[2] 香取市立 小見川東小:受講人数35名
11/14[2] 八千代市立八千代台小:受講人数74名
11/30[3] 柏市立 豊小 :受講人数120名
12/05[2] 香取市立 第一山倉小:受講人数10名
02/06[3] 千葉市立 弥生小 :受講人数43名
講座参加学校合計：11校 講座参加児童合計：801名、延べスタッフ数：27名

4 その他（同ウ他）

(1) 九都県市防災訓練

参加 H29.8.26実施 C-RATブース283名来場

C-RATスタッフ36名中（広域支援センター:香取海匝地域5名,山武長生地域2名
リハパートナー施設:香取海匝地域4名,山武長生夷隅地域2名
県支援センター(事務局以外):3名 計16名出席)

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	千葉
病院名	千葉中央メディカルセンター
重点活動項目評価	<p>●市町村事業へ関わりを中心としたちば地域リハ・パートナー制度の運用 →千葉市地域包括ケア推進課および地域包括支援センターからの依頼にちば地域リハ・パートナーを派遣することができた。</p> <p>●移乗動作研修会及びケアマネージャーを対象とした研修会の定期化 →昨年度に引き続き、移乗動作研修会及びケアマネージャーを対象とした研修会を開催することができ、満足度も高かった。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 年度内2回開催（8月2日、2月7日） 参集範囲：医療介護福祉関連の職能団体、行政各部署、地域包括支援センターなど</p> <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちば地域リハ・パートナー会議（1回実施、1回予定） 内容：概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換等 ・CCRP会（パートナー会議と同時開催で2回実施） 内容：千葉圏域における「ちば地域リハ・パートナー」有志による意見交換会 ・千葉市回りハ有志の会（1回実施、1回予定） 内容：テーマに応じた意見交換等
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちば地域リハ・パートナーを活用した専門職派遣 計6件（当院除きのべ10事業所から専門職派遣） ・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業説明会（千葉市地域包括ケア推進課と共催） 内容：2月26日開催予定。ちば地域リハ・パートナー登録機関および登録を検討している機関を対象に事業内容の説明、グループワーク等を予定。
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度「千葉市在宅医療・介護対応薬剤師認定事業」第5回研修会への専門職派遣 ・地域リハ・パートナー、連絡協議会関連団体等のマッチング（1件） ・相談窓口の設置は未実施
<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗動作研修会（3回実施） ・在宅リハビリテーション導入への手引き 第2弾 ～高次脳機能障害や認知症などコミュニケーションの取りづらい方への関わり～ ・いきいきプラザ主催の介護予防関連講演会（法人受託の事業）への支援 「あなたの歩行年齢は」をテーマに運動機能の評価や運動に関する講演

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域課題分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容 :

(再掲) 千葉市回りハ有志の会

(⑥) 内容 :

(再掲) いきいきプラザ主催の介護予防関連講演会への支援

(⑧) 内容 :

・千葉県地域リハビリテーション出前講座への支援

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	東葛南部
病院名	新八千代病院
重点活動項目評価	<p>●圏域6市担当課及びちば地域リハ・パートナー等の関連機関と連携体制を構築し、地域リハビリテーション普及に努める</p> <p>→圏域6市の地域リハビリに関わる担当課に対して、地域包括ケア推進に係る取組みについて調査を行った。調査結果を公開すると共に、在宅リハビリ推進協議会において3市5担当課の取組み事例の紹介を行った。過去3年間で圏域全6市（計14担当課）に紹介してもらい、地域包括ケア推進に向けた各市の取組みについて、地域特性を踏まえてその事業内容を医療・介護職に向けて周知することができた。また、本事業を通じて各市と広域支援センターとの連携が促進された。</p> <p>ちば地域リハ・パートナー会議を2回開催し、今後の事業の方向性について意見交換を行った。また、新規のパートナー登録を促進するために、研修会を通して広報活動を行った。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 参集範囲：医療・介護機関・圏域内市町村(H30.1月12日 参加者19名) 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画</p> <p>イ その他の会議 ・ちば地域リハ・パートナー会議の開催 (①H29.6月16日 参加者12名、②H30.1月12日 参加者13名) 概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換等 ・地域リハ担当者意見交換 (①H29.7月25日、②H29.10月4日、③H30年1月18日、 ④3月14日) ・地域リハビリ協議会 (H30.3月14日)</p>
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハ担当課 (6市25課) に対する地域包括ケア推進に係る調査及び結果の公開 ・第5回東葛南部圏域在宅リハ推進協議会(H29.10月25日)を通じた取組み紹介 ・在宅医療・介護連携推進事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・八千代市医療・介護連携フォーラムの開催(H30.2月10日) ・白井市在宅医療・介護連携研修会への講師派遣(H29.12月26日)
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護機関への電話相談(随時実施) ・特別養護老人ホームへの訪問指導(①H29.5月26日、②H29.10月3日) 摂食嚥下障害への対応
<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模研修会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第5回東葛南部圏域在宅リハ推進協議会(H29.10月25日 参加者165名) テーマ「東葛南部圏域における地域包括ケア推進に向けた取組み事例」 習志野市、鎌ヶ谷市、船橋市の行政担当課から報告 2) 在宅医療研修会(H30.2月27日予定) テーマ「当事者の語る在宅医療の実際」

- ・中規模研修会
 - 1) 八千代市医師会脳卒中地域連携講演会
医療・介護機関対象 (H29. 6月28日)
 - 2) 東葛南部圏域認知症セミナー
一般市民(①H29. 7月1日) テーマ「認知症?と思ったら」
介護従事者対象 (②H29. 10月25日) テーマ「認知症高齢者に対する基本的な対応」
 - 3) 高次脳機能障害者の就労支援研修会
医療・介護職対象 当事者の体験紹介・研修会
(H29. 9月1日 参加者201名)
- ・小規模研修
 - 1) 臨床神経学、神経診断に基づくリハ(①H29. 6月11日、②7月5日、③9月10日、
④H30. 1月14日、⑤2月11日)
リハビリ専門職対象
 - 2) 八千代市在宅摂食嚥下リハ研究会(年全11回/①H29. 4月17日、②6月5日、
③7月5日、④9月6日、⑤10月4日、⑥11月13日、⑦12月18日、⑧H30. 1月22日、
⑨2月7日、⑩3月12日予定)
在宅摂食嚥下診療に関わる職種対象 症例検討会

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域加地分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容:

一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
八千代市 (①H29. 6月30日、②9月19日、③10月4日)、浦安市 (④10月8日)
船橋市 (⑤11月4日)

(⑧) 内容:

啓発・情報提供事業 (メーリングリスト・ホームページ運営)
・メーリングリスト (128施設)
・ちば地域リハ・パートナー制度の普及 (22施設)
・地域リハビリテーション出前講座への人材派遣 (H29. 9月)

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	東葛北部
病院名	旭神経内科リハビリテーション病院
重点活動 項目評価	<p>●住民の健康増進・介護予防の取組支援を行うべく、地域リハビリボランティアの育成と活用を行っていく。 →地域リハビリボランティアの育成を継続し、住民主体の通いの場の運営や講師などにボランティアを派遣した。 →ちば地域リハ・パートナーとの協働の礎を築くべく、2回の会議を実施し、住民への健康度測定など3件の協業を行った。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <p>第1回 東葛北部地域リハ広域支援センター連絡協議会 日時：H29.7.11 14:00～16:35 対象：千葉県健康づくり支援課、高齢者支援課 各市担当者、地域包括支援センター、千葉県千葉リハビリテーションセンター、地域リハ・パートナー、リハビリ専門職 計58名出席 内容：地域包括ケアにおけるリハビリ職種の関わりについて</p> <p>第2回 東葛北部地域リハ広域支援センター連絡協議会 日時：H30.2.6. 14:00～16:40 対象：千葉県健康づくり支援課、高齢者支援課 各市担当者、地域包括支援センター、千葉県千葉リハビリテーションセンター、地域リハ・パートナー、リハビリ専門職 計58名出席 内容：地域包括ケアにおけるリハビリ職種の関わりについて</p> <p>イ その他の会議</p> <p>第1回 東葛北部地域リハ・パートナー会議 日時：H29.6.8 17:30～19:00 対象：東葛北部圏域のちば地域リハ・パートナー施設担当者、千葉県健康づくり支援課、千葉県千葉リハビリテーションセンター 計25名出席 内容：パートナー同士の顔合わせ、情報収集、意見交換</p> <p>第2回 H29.10.12 14:00～18:50 対象：東葛北部圏域のちば地域リハ・パートナー施設担当者、千葉県千葉リハビリテーションセンター 計23名出席 内容：新規加入リハ・パートナー施設紹介、リハ・パートナー施設の地域リハビリ支援内容の確認と共有、各市の介護予防・認知症予防・健康増進事業の調査結果報告、今後の地域リハ・パートナー制度運用について</p>
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナー協業のコーディネート <p>H29.9.4 我孫子市健康づくり支援課、リハ・パートナー会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の体操教室などへのアドバイス、体操教室へのスタッフの派遣などの協業体制のコーディネートを行う。 <p>H29.9.28 松戸市常盤平包括 認知症予防教室講師派遣 H29.12.6 いってみよう・やってみよう会（新松戸6丁目） 健康度測定 （リハ・パートナー施設と協業）</p>

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・研修会を利用したリハビリに関する相談支援
- 研修会事前アンケートにて相談内容を把握
研修会での質疑応答対応および相談内容へのフォローアップ
- ・情報共有システムの共有
- ちば地域リハ・パートナーへ向け研修会などの情報発信を随時行った。

④研修等の実施を通じた協働促進

- ・地域の医療機関の職員等を対象としてリハビリに関する知識及び技術向上と施設内での共有を行うリーダーの育成、各機関の連携を目的とした研修会・講演会を開催する
- ・昨年度に引き続き、「生活リハビリ普及員」フォローアップ研修を行い、継続して地域リハビリボランティアとしての育成を行っていく。
- ・本研修をパートナーも所属市で行えるよう参加を促す。

【フォローアップ研修】

日程・内容

第1回 H29. 7. 5 「身体介護実践編（腰痛予防、認知症介護のヒント）」35名参加
(うちリハパートナー6名参加)

第2回 H29. 9. 19 「傾聴」59名参加 (うちリハパートナー12名参加)

第3回 H29. 12. 6 「健康体操（腰痛予防、認知症予防）」33名参加
(うちリハパートナー5名参加)

第4回 H30. 2. 14 「研修のまとめ」18名参加

【施設等でのボランティア実習】

日程・内容

地域の通いの場（小金原6-7元気くらぶ）でのボランティア実習

第1回 H30. 1. 26 「健康体操見学」10名参加

第2回 H30. 2. 2 「健康体操実習」9名参加

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域下地域分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：

- ・(再掲) 「生活リハビリ普及員」研修会
 - ・訪問・巡回事業(3回)
- 介護に関する相談、ゲーム、介護予防体操へのアドバイス等
- H29. 7. 28 14:00～15:30 小金原6-7元気くらぶ訪問指導
- ・松戸市通所型元気応援くらぶの希望グループに年1, 2回の健康度測定を実施
- 対象：小金原6-7元気くらぶ、小金原9丁目ひばりの会
場所：上記各くらぶ活動実施会場
日時：
- H29. 7. 14 13:00～15:00げんきかい？(八柱)健康度測定
H29. 9. 22 10:30～12:00 小金原9丁目ひばりの会 健康度測定
H29. 9. 22 14:00～16:00 小金原6-7元気くらぶ 健康度測定
H29. 11. 10 14:00～15:30 小金原6-7元気くらぶ 健康指導
H29. 12. 6 10:00～12:00 いってみよう・やってみよう会 健康度測定
H30. 1. 26 16:00～17:00 小金原6-7元気くらぶ 運営相談
H30. 2. 2 14:00～16:30 小金原6-7元気くらぶ 体操指導

(⑧) 内容：

(再掲) 各市役所・地域包括支援センターとリハ・パートナー協業のコーディネート

(⑧) 内容：地域リハビリテーション出前講座

地域リハビリテーション出前講座への講師派遣 柏市立豊小学校

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	印旛
病院名	成田赤十字病院
重点活動項目評価	<p>●地域リハ・パートナー制度を通じた連携支援体制の構築 →リハパートナーにパートナー会議および連絡協議会の参加を呼びかけ、活動内容について説明し意見をいただいた。また連絡協議会では新たなパートナーを発掘するべく募集を募った。主たる活動と考えていた市町村からの依頼はなく、活用するに至らず。活動の一環としてパートナーに参加いただいている国際医療福祉大学より講師を派遣していただき講演会を開催した。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 年1回開催 日時 平成29年6月30日(金) 内容 i 平成28年度事業報告 ii 平成29年度事業計画 iii 「ちば地域リハ・パートナー」制度について 参加 56名</p> <p>イ その他の会議 ・印旛地域リハ・パートナー会議 日時 平成29年6月30日(金) 内容 i 「ちば地域リハ・パートナー」制度と事業内容について ii パートナー施設紹介 iii 意見交換 参加 9施設14名</p> <p>・印旛地域リハビリテーション広域支援センター運営会議 日時 平成29年4月18日(火)、平成29年12月7日(木) 内容 「講演会のテーマについて」「圏域内調査について」など当センターの活動に関すること 参加 外部委員4名</p>
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置(電話・メール)
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置(電話・メール)

④研修等の実施を通じた協働促進

・第1回印旛地域リハビリテーション広域支援センター講演会

日時 平成29年5月22日(月)

内容 「地域包括ケアとリハビリテーションについて」

演者 日本訪問リハビリテーション協会 相談役 伊藤 隆夫 先生

参加 101名

・第2回印旛地域リハビリテーション広域支援センター講演会(予定)

日時 平成30年3月1日(木)

内容 「他職種で担う摂食嚥下障害へのリハビリテーションとケア」

演者 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科

石山 寿子 准教授

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれか
を記入し

- ⑤地域診断と圏域加地分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容:

印旛圏域内の介護予防事業等の実施状況を把握するため、圏域内の市町介護予防担当部署および地域包括支援センターを対象にアンケートを実施する(3月上旬に予定)。

(⑥) 内容:

成田赤十字病院主催ふれあい広場2017への参加

日時 平成29年11月11日

内容 ギブスの型取り体験

義手義足体験

参加 地域住民約200名

(⑧) 内容:

地域リハビリテーション出前講座への講師派遣 2月6日 弥生小学校

圏域	香取海匝
病院名	総合病院国保旭中央病院
重点活動項目評価	<p>●市町村介護予防事業への支援 →旭市については養成講座等への講師派遣、通いの場の立ち上げ支援などの活動を行った。 匝瑳市については、意見交換会への参加、パートナー施設との連絡調整や支援などの活動を行った。</p> <p>●ちば地域リハ・パートナー施設との連携体制の構築 →2回のパートナー会議を計画・実施。広報・分科会活動・出前講座・防災訓練において、協力頂いた。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月8日（予定） 参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、リハ職 他 <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議 年2回 第1回：7月18日、第2回：3月8日（予定） ・訪問リハ支援班会議 年2回 第1回：9月2日、第2回：3月10日（予定） ・地域ネットワーク支援班 会議 年6回 第1回：5月9日、第2回：6月27日、第3回：8月22日、 第4回：11月14日、第5回：1月30日、第6回：3月13日（予定）
<p>②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭市介護予防事業への支援 介護予防サポーター養成講座(初級)：7月13日 介護予防サポーター養成講座(中級)：10月6日 介護予防サポーター連絡会：6月14日、2月7日 あさピー☆きらり体操全体会：11月14日 通いの場支援：8地区、計12回 ・匝瑳市介護予防事業への支援 匝瑳市一般介護予防についての意見交換会：7月14日、3月22日（予定）
<p>③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ相談窓口の設置（ホームページ） ・香取海匝圏域リハビリ資源調査の実施・公開（ホームページ）
<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション講演会：2月17日 テーマ：「2025年に向けて実践すべきリハビリテーションとは？」 講師：やまだリハビリテーション研究所 山田 剛先生 ・訪問リハ支援班研修会 年2回 第1回「福祉用具を用いた移乗方法をマスターしよう！」：9月2日 第2回「在宅支援・それぞれの役割と取り組み」：3月10日（予定）

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業	
⑤～⑧ いずれか を記入	<ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域加地況分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>(⑤) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障害者交流会 和希楽会」運営支援 平成29年度和希楽会全体集会：6月18日 和希楽会ニュース発行：第13号（4月）、第14号（10月） マッチング活動 公園散歩：5月13日（雨天中止）、11月11日 サビキ釣り：5月21日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月19日 料理教室：7月30日、3月11日（予定） ヘラブナ釣り：11月12日 イチゴ狩り体験：2月17日 <p>(⑥) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県立東部図書館主催 平成29年度はつらっライフ講座への講師派遣：10月14日 ・旭中央病院祭りへのブース出展（体力測定・介護予防の取り組み紹介）：9月23日 <p>(⑧) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練への参加：8月26日 ・地域リハビリテーション出前講座 派遣協力 香取市立小見川東小学校：11月13日 香取市立第一山倉小学校：12月5日 	

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	山武長生夷隅
病院名	九十九里病院
重点活動 項目評価	<p>●圏域内全17市町村との顔の見えるネットワーク強化 →平成30年2月現在比較的連携を取れている市町村は17市町村中9市町、まだ約半数の市町村とは密に連携を取れていない現状。60/100点</p> <p>●マッピング作成 →協議会にてマッピングやメーリングリスト運用の承認を得た後、現在ネット環境等整備や情報収集を随時実行中。実施に至っていないため50/100点</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>(1) 山武長生夷隅地域リハビリテーション連絡協議会 開催日：平成29年10月26日 会場：サンライズ九十九里 大会議室 参加者：山武長生夷隅地域リハ連絡協議会委員（18名中14名） 千葉県健康福祉部健康づくり支援課地域リハビリ班（2名） ちば地域リハパートナー（8名） 内容：1) 「ちば地域リハパートナー制度」の説明及びパートナーの紹介 2) 議題 ①平成29年度事業計画説明 ②平成29年9月迄の実績報告 ③承認事項 (1) グーグルマップでの地域資源のマッピング - 承認 (2) メーリングリストの作成・運用 - 承認</p> <p>(2) その他の会議</p> <p>①地域とリハを繋ぐ会（FTF会）→2ブロックに分け開催（後述）</p> <p>②第1回山武長生夷隅圏域合同集会 開催日：平成29年5月17日 会場：山之内病院（ちば地域リハパートナー（以降※にて記載）） 参加者：圏域内の機関に在籍するリハ専門職 97名 内容：①講演「地域リハビリテーション活動支援事業について」 ②平成29年度山武長生夷隅地域リハ広域支援センター事業計画の説明 ③平成28年度の九十九里病院の地域リハに係る活動報告 ④市原地域リハビリテーション広域支援センターの活動内容紹介</p> <p>③ちば地域リハ・パートナー会議 開催日：平成29年9月27日 会場：季美の森リハビリテーション病院（※） 参加者：パートナーの指定を受けた機関、県リハの方、地域リハビリ班の方 20名 内容：①ちば地域リハ・パートナー制度の説明 ②平成29年8月迄の活動報告と今年度の依頼状況の説明 ③ちば地域リハパートナーについての意見交換会</p> <p>④地域リハビリテーション対策会議（月2回 隔週） - 院内対策メンバー10名 内容：各市町村等からの依頼状況の確認、研修の準備等進捗状況の確認 各事業後のフィードバック等の協議</p>

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

(1)介護予防事業へのPT・OTの派遣

- 4月7日 九十九里町婦人会研修会 (25名)
5月27日 山武市市民公開講座
6月27日/12月12日/1月30日 いすみ市介護予防ボランティア勉強会 (※) 各20～25名
7月22日/11月11日 山武市 (松尾蓮沼) 健康体操教室 (各20名程)
9月6日/9月17日 九十九里町ダイヤモンドクラブ (老人会) 出前講座 (23名・22名)
9月28日/10月13日 九十九里町介護予防ボランティア勉強会 (24名・7名)
10月20日 白子町介護予防教室 (修道会) (※) (20名)
11月3日 九十九里町産業まつり まつりに参加した住民に対し介護予防体操実施
11月12日/12月3日/1月29日 東金市ロコモティブシンドローム予防研修 (25～30名)
11月14日 横芝光町介護度重度化防止推進委員研修 (15名)
11月19日 横芝光町「健康まつり」にてロコモ予防講演 (51名)
1月17日 睦沢町「健康」についての講話
2月23日 東金市介護予防ボランティア勉強会

6月28日/7月10日/8月23日/8月30日/9月25日/11月6日/11月13日/11月20日/2月26日

3月14日/3月19日/3月28日

→横芝光町「地区貯金運動」

集いの場立ち上げの支援・集いの場での運動効果判定・評価結果のフィードバック
現在3箇所新規立ち上げ、次年度2か所新規立ち上げ予定 1会場15～20名

(2)地域ケア会議へのPT・OT・STの派遣

- 6月19日 九十九里町地域ケア推進会議
9月14日 九十九里町地域ケア推進会議
9月15日 山武市 (松尾蓮沼) 地域ケア個別会議

(3)その他の支援

- 5月24日 山武圏域連絡調整会議 - 中核地域生活支援センターより講演依頼
5月30日 茂原市介護予防事業推進説明会参加 (22名)
6月21日 山武圏域連絡調整会議 高齢者部会公開研修会
6月28日 東金市社会福祉協議会連絡会議参加
8月31日/10月12日 山武市地域リハビリテーション活動支援事業検討会
9月30日 東金市歩行年齢測定会
11月24日/2月16日 九十九里町障がい者計画策定委員会
11月12日 千葉県健康・体力づくり指導者研修会

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- 7月11日 東金市訪問介護事業所 腰痛体操教室 (16名)
7月22日 千葉県介護福祉士会南部ブロック勉強会 (22名)
11月17日 大網白里市家族介護教室 (6名)
1月15日 片貝小学校PTA体操教室
2月9日 睦沢町家族会「介護の基本」についての勉強会 (18名)
2月15日 片貝小学校総合学習出前講座 (5年生対象) 社会福祉協議会から依頼 (※)

・電話相談にて随時対応。相談内容や地域に応じ、予め作成するネットワーク、マッピング等を活用し対応可能な機関に打診していく。対応が困難な場合、当院で対応。
・アンケートで得た情報を基に圏域全体での課題、市町村単位での課題、地区単位での課題を整理・、その対応方法を検討し、各市町村、特にリハ資源の少ない圏域での介護予防事業の運営支援、現地調査等を実施する。

④研修等の実施を通じた協働促進

地域とリハを繋ぐ会（FTF会）→2ブロックに分け開催

第1回開催日：平成29年7月18日 会場：長生合同庁舎 参加人数：44名

第2回開催日：平成29年7月25日 会場：山武保健福祉センター 参加人数：41名

内容（第1回、第2回とも同内容）

①講演「地域リハビリテーションに係る人達が連携する事で生まれる『可能性』」

②グループワーク「模擬地域ケア会議」

③まとめ「地域ケア会議、地域連携の意義」

千葉県介護予防事業従事者研修（県主催）

鴨川会場（12月1日）・茂原会場（12月20日）に参加

千葉県介護予防の推進に資する専門職育成研修（千葉POS主催）

→各会場ワーキンググループとして参加

松戸会場（11月18日） 市原会場（1月6日） 茂原会場（2月25日）

千葉県地域リハビリテーションフォーラム（1月27日）

→ポスター発表及びシンポジストとして参加

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれか
を記入し

- ⑤地域診断と圏域加地分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（⑤・⑦）内容：市町村の地域リハ関連機関・ちば地域リハパートナーへの挨拶回り

期間：4月～6月・7月～8月・2月

対象：市町村の地域リハ関連部署（17）・健康福祉センター（3）・地域包括支援センター（22）

社会福祉協議会（17）・中核地域生活支援センター（3）・ちば地域リハパートナー（16）

訪問数：72機関（同じ敷地にある関連機関はまとめる） 113名

目的：①顔の見える連携づくり ②当センターの広告及びアンケートの配布

③各市町村の地域リハ関連の活動等の状況調査

（⑤・⑦）内容：グーグルマップを活用したマッピングの実施

→連絡協議会でメーリングリスト及びグーグルマップをしたマッピングの運用を承認後、地域リハ関連機関に「マッピング記入用紙」を送付し情報収集もマッピングデータの公開等には至っていない状況。次年度より本格的な運用開始。

（⑧）内容：広報・啓発活動

（1）ホームページ作成・更新

→ホームページを見た医療・介護関係の方以外でもわかり易いように実施した地域リハ関連事業をブログ形式で開催後1週間以内に掲載。

（2）「いすみひなた」（中核地域生活支援センター）で刊行している広報での原稿執筆

（⑧）内容：他圏域等の研修参加

7月9日 野田市シルバーリハビリ体操見学

7月22日 全国地域リハビリテーション研修会（埼玉県）参加 （3名）

（⑧）内容：地域リハビリテーション出前講座

9月27日東金市立城西小学校

（⑧）内容：九都県市合同防災訓練参加

開催日：8月26日

会場：そうさ記念公園

内容：防災フェア及び避難所運営訓練のサポート

その他：圏域内のちば地域リハパートナーへの参加呼びかけ

→2機関が防災訓練に参加

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	安房
病院名	亀田総合病院
重点活動 項目評価	<ul style="list-style-type: none"> ●ちば地域リハ・パートナーとのネットワーク構築 ●市町村介護予防事業への支援 ●リハ専門職の交流会の促進 <p>→広域支援センター内でのワーキンググループなどは機能し始めた1年。年度終盤に開催したセラピスト研修会にて、地域セラピスト内で共通認識や思いの把握に努めた。来年度は、多くの方が地域リハ、介護予防に参加できる仕組みを構築していく。それに合わせて、パートナー業務や市町村との関わり方などを仕組み化していく。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築	
ア	連絡協議会 参加：職能団体、医療福祉介護に関わる職種の方々 →7月19日に開催 13名参加
イ	その他の会議 ちば地域リハ・パートナーのネットワーク構築 リハ専門職の交流機会の促進 →2月23日、第1回 安房地域・セラピスト研修会を開催
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力	
<ul style="list-style-type: none"> ・リハ職向けの介護予防事業に関する研修会を開催予定 →(再掲)2月23日、第1回 安房地域・セラピスト研修会を開催 ・市町村に対して、ニーズ調査を実施予定 →第1回 安房地域・セラピスト研修会後に調査。 	
③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・依頼に合わせた出張講習会の実施 →7月25日 (腰痛予防 20名 古茂口の家) →9月19日 (自動車乗車支援 10名 亀田メディカルセンター) →11月29日 (腰痛予防 20名 緑風荘) →12月8日 (移乗動作介助 15名 リポート天津) →12月18日 (介助方法 21名 さくらケアサービス) →1月23日 (腰痛対策計画 15名 ジョイライフ鯛の浦) 	
④研修等の実施を通じた協働促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・リハケア文化祭の開催(鋸南町にて開催) →10月14日 鋸南町中央公民館で開催。参加者 185名 <ul style="list-style-type: none"> ・開会セレモニー) 地域の方々による竹太鼓 ・ポスター発表) 地域の様々な活動のポスター発表 19演題 ・ランチョンセミナー) パラリンピックで盛り上がる ・特別講演) 埼玉県和光市の介護の取り組みを学ぼう ・シンポジウム) 社会福祉協議会って何するところ? ・講演会) 人生の最後にあなたは どうする? ・作品コンテスト) 通所サービス利用者によるちぎり絵 9作品 ・事業所紹介) コマーシャル上映 3事業所 ・関連職種等とのコラボ企画を模索 →11月4日 館山介護フェスタ 地域セラピスト支援のため3名派遣 →3月20日 パラ・スポーツ体験会を開催。(予定) ・専門職向けの研修会開催 →2月23日 再掲) 第1回 安房地域・セラピスト研修会を開催 →2月4日 介護職員を対象とした研修会に講師を1名派遣 	

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域加地兄分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：

- ・ **(再掲) ・市町村に対するニーズ調査**
→第1回 安房地域・セラピスト研修会後に調査。
- ・ **地域資源の調査**
→ワーキングチームを立ち上げ、検討。
→病院退院後の資源を調査し、リスト化の取り組み実施。

(⑧) 内容：

- ・ **リハビリテーション出前講座(小学校体験授業)への協力と、圏域内での開催に向けた働きかけ**
→小谷小学校での出前講座へ参加(11月6日、1名が参加)
- ・ **様々な要望に対応できる体験型研修の構築**
→ワーキンググループにて検討を実施。
- ・ **出張講習会の整理**
→各種出張講習会のマニュアル化の検討を実施。
- ・ **介護予防事業の活動**
→予防事業についてのマニュアル化の検討を実施

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	君津
病院名	国保直営総合病院君津中央病院
重点活動 項目評価	●市民公開フォーラム →評価70%

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築	
ア	連絡協議会 年2回開催(5/30:16名と10/25:20名) 参集範囲：4市・君津健康福祉センター・ ・歯科医師会・介護福祉会・介護支援専門員協議会・POS連他+当院職員10名
イ	その他の会議 ・地域リハ・パートナー会議(5/30:5名と10/25:6名) 協議会にも参加 ・地域リハ・パートナー訪問(5/11) ・市民公開フォーラムの打ち合わせ(8/17)
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への参加(袖ヶ浦6/9.8/10.2/8君津7/20) ・木更津市在宅医療連携推進協議会(8回) ・木更津市地域リハビリテーション活動支援事業(8/29) ・保健所難病相談支援事業(7/7) ・木更津市特別支援連絡協議会(6/16) ・木更津市自立支援協議会(7回) 	
③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・君津特別支援学校非常勤講師(5回) ・木更津市子ども発達相談・教育相談(16回) ・木更津市小学校巡回相談(6回) ・木更津市校内事例研究会(8/21.11/13) ・身障リハビリセンターへの技術支援(4回) ・認知症カフェの講話(2/16) ・施設向け出張研修(腰痛予防の体操と環境整備、自立を促すリハビリ体操、認知症サポーター養成講座) 	
④研修等の実施を通じた協働促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨頸部骨折パス連携の会(6/26:50名) ・認知症サポーター養成講座(7/14:20名.3/5) ・災害リハ研修会(ロジスティック研修2/24:59名) 	

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域加地分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容 :

- ・小児連携の会
「重度重複障害児・者へのコミュニケーション支援」(8/6:30名)
「症例検討会」(2/23:12名)

(⑥) 内容 :

- ・市民公開フォーラム(9/10:170名)
医師の講演・市民健康増進活動自主グループの発表・医療介護専門職の体験ブース

(⑦) 内容 :

- ・失語症意思疎通支援事業の啓発研修会(2/15:53名)
行政・医療介護専門職向けにコミュニケーション障害の実態と支援の在り方・会話
パートナーの必要性などを啓発・意見交換する

(⑧) 内容 :

- ・地域防災訓練参加(袖ヶ浦8/20)
深部静脈血栓予防と環境整備の啓発
- ・袖ヶ浦ケアマネ会HUG(5/27)
- ・君津ケアマネ会HUG(9/29)

平成29年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

圏域	市原
病院名	白金整形外科病院
重点活動項目評価	<p>●ちき会にて地域課題の抽出を行い、具体的な地域課題の解決につなげる。 →ちき会、地域生活連携シートの研修会を軸に、切れ目ない医療、介護の提供体制構築を推進する体制づくりを行うことができた。また循環器病センターや保健所との協働により、資源の少ない機関に対し伝達講習を行うことができた。移動手段の不足の問題に対し、地元スーパーの送迎や移動スーパーといった取り組みを紹介した。</p> <p>●ちば地域リハ・パートナー制度の活用 →地域生活連携シートの研修会での運営協力、ちき会での会場と人的資源の提供、中止になってしまったが、いちばら健康まつりへの協力など人手が必要な場面で効果的に協力をさせていただくことができた。今後の課題としては介護予防活動への協力を求めたいが、デイトムでの活動が前提のため、現状ではハードルが高い。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会

年1回開催 (H30.2.23)

参集範囲：圏域内の市役所、保健所、地域包括支援センター、職能団体、病院、介護老人保健施設ほか
広域支援センターの活動報告と市内の連携状況について

イ その他の会議

・ちば地域リハ・パートナー会議 (12/8)

市原圏域での地域リハ・パートナーの概要の周知及びあり方の検討

・ちき会 (年12回)

地域リハビリ関連機関との自由討論、圏域内の地域課題の検討、市内リハビリ資源の紹介、在宅医療に係る専門知識、情報の共有ほか

第1回 4/21 グラクソスミスクライン共催「ボツリヌス療法の基礎知識」
21名参加

第2回 5/18 わかばケアセンター共催「介護の現場でのICTの活用」
37名参加

第3回 6/22 「地域リハビリテーションについて」43名参加

第4回 7/18 千葉県循環器病センター共催
「糖尿棒予防のポイントについて」43名参加

第5回 8/24 白金整形外科クリニックデイケア
「介護保険サービスの卒業について」52名参加

第6回 9/21 パートナー梅香苑との共催
「医療法人社団 緑祐会の活動について」49名参加

第7回 10/17 パートナー五井病院との共催
「移動能力に応じた住宅改修の実例」62名参加

第8回 11/14 近隣感染管理認定看護師8名参加
「正しい手洗いを身に着けよう！」65名参加

第9回 12/16 市原市役所、市原市医師会共催「もっと深めよう！地域連携の輪 地域連携を明日から深化させるために」49名参加

第10回 1/19 地元スーパーT☆MART共催
「T☆MARTの地域活動への取り組みについて」19名参加

第11回 2/16 市原保健所共催「医療・介護・福祉スタッフのための
知って得する糖尿病の知識」45名参加

第12回 3/13 リハビリテーション病院さらしなにて開催予定

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

・市原市民大学への講師派遣

6/23 第1回講義 地域リハビリテーションとは？健康づくりのおすそ分け
10/6 いちはら筋金近トレ体操

・市原市いいあんばい体操への支援

9/30 市原国府まつりステージでの披露

・市原筋金近トレ体操の講師派遣 53回派遣 (39団体1100名参加)

12/6 市原筋金近トレ体操全体交流会 (体操教室同士の集い場の自慢大会)
38団体 150名参加

・高齢者体操普及員修了者研修会 (4/26、3/5)

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

・メールフォームを活用した地域包括支援センター等へのリハビリテーション相談事業

・地域包括支援センターへの支援

主催研修会への講師派遣 (トータス)

地域ケア会議への参加 3機関 (ごい、つつみ、ふるさと) 計11回

・市原市役所との打ち合わせ 適宜実施

・市原保健所との打ち合わせ 適宜実施

・市原市在宅医療介護連携推進会議への協力

<p>④研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活連携シートの改訂に係る普及啓発研修 10/21 市原市、市原市医師会、市原市医療介護連携推進会議との共催、保健所協力にて開催 ・各種イベントへの出展による市内関連機関との協働 市原認知症対策連絡協議会 年間7回参加、イベントの実施 4/16 認知症あんしんフェア 健康体操の紹介 イベント参加、ブース出展 9/10 RUN伴千葉2017 いちはらエリア 10/22 第42回市原健康まつり(悪天候中止) 11/23 ちはら台 医療と介護の集い ロコモチェックと口腔機能チェック ・近隣機関への研修・技術支援 5/17 山之内病院 山武長生夷隅圏域合同集会 8/7 ケアレジデンス五井「いちほら筋金近トレ体操の紹介」 9/29 わかばケアセンター「スタッフへの介助方法の指導」 10/29 西國吉自治会館「タオル体操の実演」 10/29 市民公開講座「もっと知ろう！脳卒中」 1/6 介護予防の推進に資する専門職育成研修(市原) 2/25 介護予防の推進に資する専門職育成研修(茂原)
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <p>⑤～⑧いずれかを記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域加地兄分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>(⑤) 内容:</p> <p>内容:(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちーき会の実施による地域課題の抽出と課題解決に向けた事業提案 ・ちーき会参加機関に対するパートナー制度の周知
<p>(⑥) 内容:</p> <p>内容:(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちほら筋金近体操、いちほらいいあんばい体操の普及啓発
<p>(⑧) 内容:</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(ホームページの更新、市内イベント等での事業説明など) 1/27 地域リハビリテーションフォーラム(ポスター発表) ・情報収集(研修会の参加等による災害時の地域リハ活動やその他地域リハに係る情報の収集) <p>研修会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/22 地域医療構想と地域包括ケア講演会 6/9、11/24 千葉県社会福祉士会市原地区集会 6/24 千葉認知症研修会 8/18、11/10 介護予防事業従事者研修 11/26 NPO一歩一歩研修会 12/19 地域リハビリテーション調整者養成研修 12/14 小児慢性特定疾病自立支援事業講習会 1/27 千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会 5/30、7/19、9/12、11/28、1/16 市原市OTS勉強会 2/1 第56回千葉県公衆衛生学会 2/18 第9回千葉県脳卒中等連携の会 ・出前講座への協力 10/24 川戸小 11/6 小谷小